

■ 令和8年度小樽市宿泊税を活用する事業について（当初予算）

単位（千円）

施策区分	事業名	事業概要	事業費	財源内訳			担当部	担当課
				宿泊税	その他特定財源	一般財源		
歴史遺産や個性ある景観の保全	歴史的建造物保全及び景観地区内建造物修景等事業費助成金	「小樽市歴史的風致維持向上計画」で定めた重点区域内の歴史的建造物の外観保全にかかる工事費の一部を助成する。	21,000	7,000	14,000		建設部	新幹線・まちづくり推進室
観光インフラの整備	運河散策路維持管理経費（浅草橋街園冬季段差解消事業分）	浅草橋街園について、厳冬の段差解消及び融雪時期の水溜まり解消のため、「段差解消班」を新設して人力による雪割を実施する。	518	518			建設部	建設事業室用地管理課
	臨時市道整備事業（本通線等歩道インターロッキング舗装改良事業分）	令和8年度から令和12年度までの5か年にかけて、市道中央通線、本通線等の歩道部インターロッキング舗装の補修及びカラー舗装の試験施工（バリアフリー化検討）を実施する。	5,000	5,000			建設部	建設事業室建設課
	除雪費（観光地除排雪事業分）	中央通線、浅草線、堺町本通線（本通線・本通第2線）について、「人力除雪班」による歩道の段差解消及び砂散布作業を実施する。また、中央通線、本通線、運河通線について排雪作業を実施。	6,000	6,000			建設部	建設事業室維持課
受入環境の整備	旅行者安全確保整備事業費	避難所に観光客（宿泊者）のための必要最小限の備蓄品（食料、飲料水、毛布、トイレ、ストーブ、発電機）を整備する。	9,490	9,490			総務部	災害対策室
	令和版口マネスクイルミネーション事業費	夜間観光の魅力創出のため、歴史的建造物のライトアップを灯（あかり）で繋ぎ、面的に整備する。複数年にかけて実施し、令和8年度はワークショップや実証実験を実施し、ランドデザイン（大まかな整備指針）を策定する。	6,149	6,149			産業港湾部	観光振興室
	オーバーツーリズム対策事業費	警備員の配置やAIカメラ・スピーカーによる注意喚起、SNSを活用したインフルエンサーによるマナー啓発などの対策を実施する。	31,471	31,471			産業港湾部	観光振興室
	おもてなし認証推進協議会補助金	市全体のホスピタリティ（おもてなし）向上を図るため、「小樽おもてなし認証」の取組を支援する。	1,000	1,000			産業港湾部	観光振興室
マーケティング等に基づく観光戦略づくりとそれに基づく取組	地域DMO交付金	国のガイドライン改正を踏まえ、小樽観光協会が地域DMOとして、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った「観光地域づくりの司令塔」としての機能を最大限発揮できるよう総合的に支援する。	143,710	60,000		83,710	産業港湾部	観光振興室
	観光入込調査デジタル技術活用事業費	GPS人流データを活用して観光入込客数調査を実施するとともに、オーバーツーリズムの実態を把握するため、国内外からの来訪者の動向を調査する。	6,710	6,710			産業港湾部	観光振興室
賦課徴収に係る経費		宿泊税の導入に要する費用及び賦課徴収に係る経費。	20,231	20,231			—	—
—	—	合計	251,279	153,569	14,000	83,710	—	—

※事業費及び事業内容は令和8年度当初予算時点のもの。

※事業充当後の残額47,431千円（歳入予算201,000千円－事業充当額153,569千円）について、徴税実績に応じて特別徴収義務者（宿泊事業者）へ翌年度に支給する交付金及び観光振興における不測の事態や社会情勢の変化等に対応するための財源として、「小樽市宿泊税資金基金」の基金残高を確保する。